

2017年度 IASRC 学生公募プロジェクト  
学期末報告書

作成者：續木 明佳

活 動 名	FROM PROJECT 秋田
活 動 期 間	2017年10月15日(日) - 2018年 2月 4日(日)
<p><b>【活動の目的と概要と成果（200字以上 300字以内）】</b></p> <p>当団体は、課題解決型学習の提供により、高校生の挑戦をサポートすることをビジョンに据え、また、これら一連の活動を通し、高大連携の強化に励むと共に、社会人の方々と協力し、地域ぐるみで高校生を教育するコミュニティを作りだすことを目的に活動している。計7回の課題発見講座やプロジェクトマネジメント講座、中間発表会や最終報告会を通して、秋田の高校生が自分自身と地域社会に向き合い、思索し、その意志をプロジェクトという形で体言化し、また発表する機会を提供した。この3ヶ月間の活動を通して、高校生と地域住民に対し、地域への参画意識を高めさせると共に、新たな県民同士の世代を超えた出会いと学びの場を創出してきた。</p>	
<p><b>【訪問等の日程と各訪問等の際の活動の概略】</b></p> <p>講座、また報告会などの活動を以下の日程で行った。講座は全て国際教養大学のキャンパス内にて行った。</p> <p>10月 15日 初回講座 22日 第2回講座</p> <p>11月 5日 第3回講座 11日 フォローアップ講座 12日 第4回講座 19日 第5回講座</p> <p>12月 2日 フォローアップ講座 3日 中間報告会 9日 第6回講座① 10日 第6回講座② 17日 第7回講座</p> <p>1月 6日 最終報告会リハーサル にぎわい交流 AU 7日 最終報告会 にぎわい交流館 AU</p> <p>2月 4日 Good Impact Challenge2018 東京都渋谷区 株式会社コロプラ</p> <p>各講座では課題解決型学習のスタイルに則り、高校生が地域社会への課題意識を主軸と</p>	

したプロジェクトを作り、実行するための知識やスキルをワークショップ形式で提供した。また、国際教養大学の学生や秋田の第一線で活躍する社会人の方々にも講演をしていただいた。中間報告会では参加高校生が、自らのプロジェクトについてポスタープレゼンテーションを行い、社会人や大学生から助言を得ることでさらなるプロジェクトの充実を図った。最終報告会では、参加高校生が自らのプロジェクトについて審査員及び観客の前でプレゼンテーションを行い、各賞を受賞した。また、観客の方々からプロジェクトについて質問や助言を受けるネットワーキングタイムを設け、市民と高校生の双方向の学びの場を創出した。Good Impact Challenge2018 では、最終報告会で選出された一名の高校生が各地域から集った高校生とともに審査員、観客の前で自らのプロジェクトについてプレゼンテーションを行った。ふろぷろ秋田代表者は、半田智久賞を受賞した。

経費申請合計額	42,662 円
顧問確認欄	報告書確認【 <input checked="" type="radio"/> 済 ・ 未 】

注：「活動名」と「活動の目的と概要と成果」はIASRCのウェブサイトに掲載しますので、個人情報等への配慮をお願いします。また、併せて、ネットに掲載できる写真があれば2～3枚提出してください。